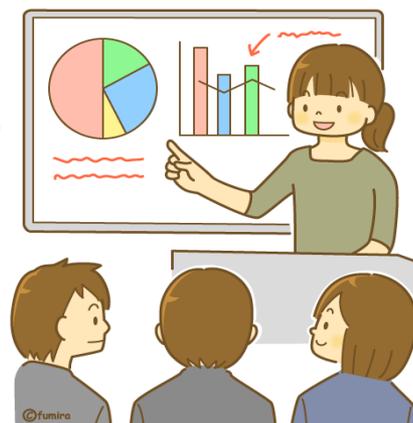


壬生町女性団体連絡協議会 活動報告

平成25年2月17日(日)

◆報告概要

- 壬生町女性団体連絡協議会概要
 - 設立と会構成及び目的
 - 年間の活動
- 視察内容報告（平成24年9月26日実施）
 - 視察研修の目的
 - 現地視察（いわき市塩屋崎付近）
 - いわき市男女共同参画センターでの研修（女性団体等の災害支援活動報告）
 - 視察研修感想



●壬生町女性団体連絡協議会概要

1. 設立と構成について

壬生町女性団体連絡協議会は、昭和53年に設立した婦人団体連絡協議会が元になっている。設立当初は6団体であったが、現在は7団体であり、会員数は500名を越えている。

《女性団体連絡協議会構成団体》

- | | | |
|-----------------|----------|-------------|
| ① 農村生活研究グループ協議会 | ② ひまわり会 | ③ 女性会 |
| ④ JALもつけ壬生地区女性会 | ⑤ 商工会女性部 | ⑥ 交通安全協会女性部 |
| ⑦ 消費者友の会 | | |

2. 目的と活動について

- 目的 … 町内女性団体相互の連携と親睦を図る。
明るい町づくりの推進母体として郷土の発展に寄与する。
- 活動 … 単位団体の連携提携に関する活動
町行事の協力に関する活動
その他、目的達成に必要な活動

◆年間活動報告

1. 男女共同参画社会を考える「とちぎ県民のつどい」



- ・ 男女共同参画週間(6月23日～29日)に合わせて県男女共同参画センターで開催。
- ・ 毎年30名程度の役員が参加し、学習成果を持ち帰っています。
- ・ 平成15年には、「マイバッグ運動」推進を目的とした寸劇、平成16年には町内農産物について〇×クイズを行い、地元農産物のPRを行いました。

◆年間活動報告

2. 男女共同参画推進活動



昭和63年より、男性も女性も等しく社会に参画し、互いに個性と能力を発揮することを目的に、集会・講演会等を実施しています。

(名称の移り変わり)

- 昭和63年～平成元年 … 婦人の集い
- 平成 2年～平成9年 … 女性の集い
- 平成10年～平成21年 … 女(ひと)と男(ひと)とのつどい
- 平成22年～ … 男女共同参画講演会(町教育委員会共催)

◆年間活動報告

3. 栃木県郡市町対抗駅伝への協力



平成22年から栃木県郡市町対抗駅伝の中継所(総合運動場)で応援に来られた方へ壬生名物の「かみなり汁」の調理・振る舞いのサービスを行っている。

◆年間活動報告

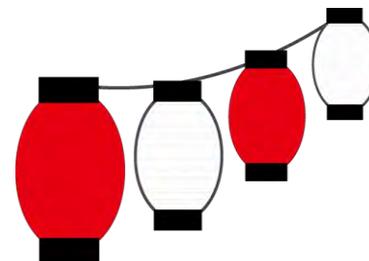
4. その他

○視察研修

会員の親睦と教養を深めるため、毎年視察研修を行っています。（平成24年度は、いわき市方面を視察）

○ふるさとまつり参加

ふるさとまつりで来賓の接待を行っています。



○環境美化キャンペーン活動

町内公共施設に出向き、美化活動を行っています。



平成24年度

壬生町女性団体連絡協議会視察研修

日 時 平成24年9月26日(水)

視察地 塩屋崎、いわき市男女共同参画センター 等

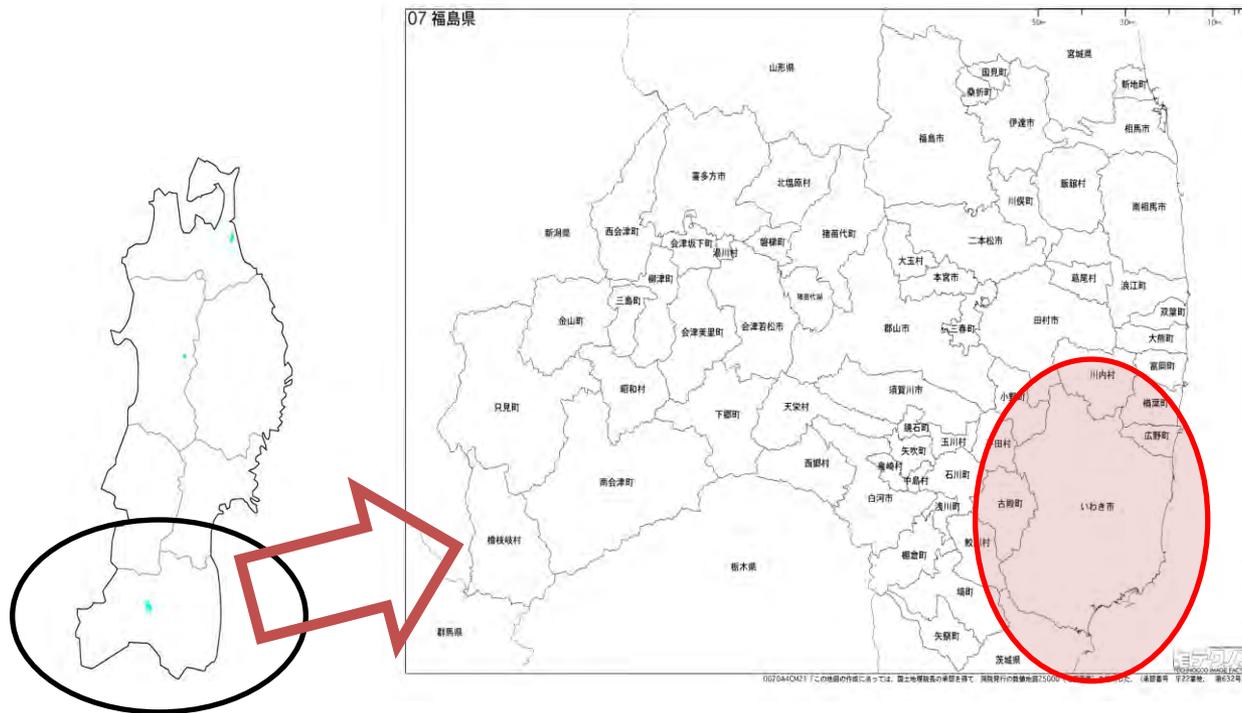
参加者 43名

●視察研修の目的

東日本大震災被災後の困難な状況下で活躍した女性について学ぶとともに、地域の女性団体と交流を行うことで、町内での各団体の活動に生かして行きたいと考えました。

また、被災後1年半を過ぎた現地の様子を知ることで、今後の福祉活動に反映することも目的となります。

●視察研修場所の概要



今回、視察研修で訪問した福島県いわき市は、福島県の南東部に位置し、人口約33万3千人の東北第2の都市です。

また、いわき市は福島県内で唯一、男女共同参画都市宣言をした市です。

●現地視察

- 今もなお、震災の爪あとが残る塩屋崎付近を視察しました。



塩屋崎灯台付近



「喜びも悲しみも幾歳月」記念碑

●現地視察



最も被害が大きかった豊間(とよま)地区の様子

● 現地視察



がれき置き場になっている豊間中学校



波止めブロック作成の様子

●視察内容報告(センターでの研修)

- いわき市男女共同参画センターにて、現地での女性団体による支援活動について話を聞きました。



【いわき市男女共同参画センター概要】
複合施設であるいわき市総合保健福祉センターの一角に、いわき市市民協働部の1課として、2004年に開所。啓発事業、人材育成事業情報収集・提供事業、活動・交流事業などを実施。職員数は3人。

●視察内容報告(いわき市男女共同参画センターでの研修)

- ・災害支援について頑張ってきたいわき市の女性たちの活動について、女性の視点や今後の課題などを中心に活動団体から報告を受けました。



いわき市の活動団体

- ・いわき市健康推進員協議会
- ・国際女性教育振興会 いわき
- ・合戸婦人消防隊
- ・飯野婦人会
- ・いわき地区商工会女性部連絡協議会内郷商工会女性部
- ・あざみの会
- ・一般社団法人 福島県歯科衛生士会いわき支部
- ・福祉レクリエーションネットワークinふくしま(いわき)
- ・公益財団法人全国友の会 全国友の会振興財団平友の会
- ・NPO法人 いわきFP・e-らいふ
- ・特定非営利活動法人 ザ・ピープル
- ・いわき商工会議所女性会
- ・いわきふれあいサポート
- ・特定非営利活動法人 Commune with 助産師



他

活動報告(飯野婦人会)

1. 支援のきっかけ

下荒川区民会館管理人より、FMラジオを通じて平工業高校体育館に多くの避難者がいることを区長に連絡があった。区長から婦人会に話があり、すぐに数名で平工業高校に出向き話し合いを行った。

飯野婦人会では即座に、炊き出しの支援をすることに決定した。

2. 主な支援(炊き出し活動)

1. 日 時 週1回 主に金曜日の 12:30～16:30
2. 場 所 平工業高校同窓会館調理室
3. 参加者 婦人会会員と有志3名(毎回6～8名の参加)

4. 注意した点

- ・参加者は個人・家庭の都合を優先し、割り振りはしなかった。
- ・毎回、始まる前と終了後には、避難所責任者にあいさつをした。
- ・前日に材料の下見をして、ダブらないようにメニューを決めた。

3. 通常の活動

- ・公民館ふれあいまつり、公民館周辺の清掃及び除草活動
- ・地区の体育祭、球技大会及び夏祭り等への参加・協力
- ・講演会等を研修を兼ねて開催 …… 約100余名の地区民が参集
- ・平地区婦人会・いわき地域婦人会並びに県婦人会の研修等に参加

4. 今後の課題

会員不足のため、どのように会員を増やしていくかが今後の課題となっている。



1. 支援のきっかけ

平工業高校の近くに住んでいる会員が、テレビで避難所の様子を知り、皆に呼びかけたことで支援活動が始まった。会の中でも立場は色々だったが、会員同士の心を一つにして行動できることを大切にすることで、お互いができるだけ理解し、支え合えることが出来るようになったように感じた。

2. 主な支援

- ・4月～6月中旬頃まで、避難所での炊き出し
- ・県内4カ所の友の会と一緒に、被災地の支援物資手配及び訪問活動
- ・8月より、いわき市高久第一仮設住宅にて、物資配布・料理・家計簿の講習会及び心の交流になるように支援してきた。はじめは、避難してる方々のご苦勞が気になった。訪問してもなかなか親しくなれなかった。

3. 今後の支援活動

物資配布ばかりでなく、少しでも生活に役立つ内容を考えて続けられればと考えている。今後も無理の無いようにして続けたいと思う。炊き出しをしていたときに、蒸し暑くなると食物が悪くなるので中止した。仮設住宅のスペースが狭いので、物の支援より生活に役立てることを考え、物資も必要とあれば継続したい。

4. 今後の課題

まだまだ支援を必要とされることがあるので、避難されている方々と話し合いなどをして親しく出来るようにし、押しつけでなくこちらの支援についても理解していただけるようにするためには、どのように接するのが良いかと心がけていきたい。

今回の視察研修の感想を
役員の代表が発表します。



ご静聴ありがとうございました

